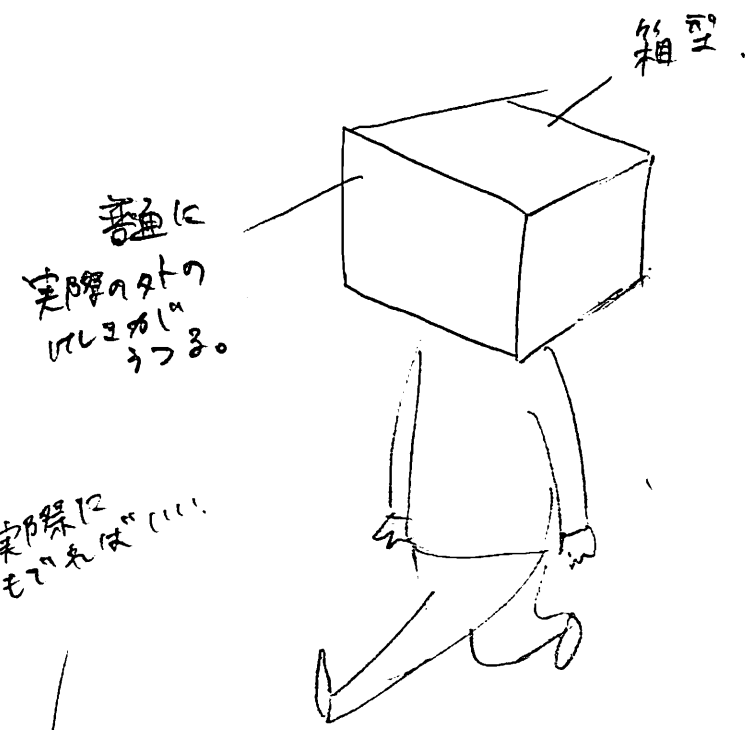


2008/2200 萩原沙織.

つい最近、長崎の原爆ドームに行きました。

もし今核戦争が起これたと考えるとゾッとしまして、

次のような装置があったらと思って考えました。



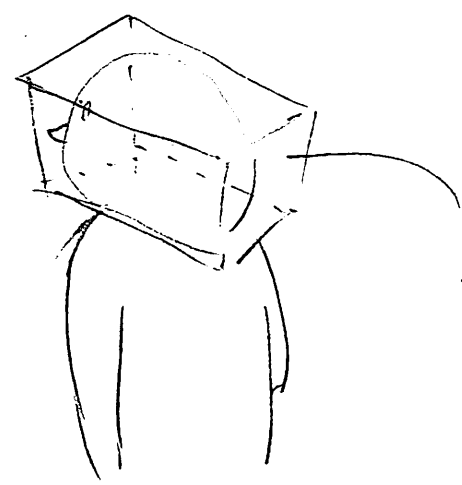
例えば
ついでに
普通にあっていて、
まばたきするたびに
目に見えて実際の
景色が"焼け"たり
たったり、爆弾が
おにされたあとだったり、
目にうつる人が"死んで"
いたり、自分の死んで"いる"
海が見えたり

実際に
音もあればいい

その人の視線を
あわせて映像も
うつる

自分の身近な風景が
壊れるという体験
がどんなものなのか。

全部の画に
景色が映る



炎の中に
有人を見た

"まばたき"を24時間にするのは
原爆ドームに行くと共に

被災者の言葉で

"ただ"と"光"と"た"だけだった
という言葉が"耳に残り、何かがい
壊れるとこの一瞬さを
感じられるのではと
思ったため。